

# 西川中学校通信

HP アドレス：<http://www.nishichu.city-niigata.ed.jp>

## 第 50 回卒業証書授与式 式辞 (一部抜粋) 校長 大平 淳一

卒業にあたって皆さんに、大事にしてほしいことを、二つの漢字でお話しします。一つ目は「志」です。

明治維新で活躍した人材を育てた吉田松陰は、「志を立てて以て万事の源と為す」と述べ、「志」こそがすべての始まりであり、成功へと導く基盤であると考えていました。奴隷解放を実現したアメリカ第一六代大統領エイブラハム・リンカーンは、“Where there is a will, there is a way” という言葉を残しました。「志のあるところに道は拓かれる」と訳すことができます。

現代社会においても「志」をもつことは、個人の成長だけでなく、社会全体の発展にもつながる重要な意味があります。個人的な目標を超え、社会への貢献や高い理想を目指す「志」をもつことは、「VUCA」と言われる予測不能なこれからの時代を生き抜くための大事な資質であり、原動力にもなります。是非、皆さんもしっかりと「志」をもってください。

自分にとっての「志」とは何か、自分自身に問い、自分自身でしっかりと考え続けることです。日々の活動では、目標設定し、挑戦し、小さな成功を積み重ねていくことです。それを継続することで目標は、自分自身のやりたいこと、なりたいもの、夢へと発展していきます。そして、その目標・夢は、大きな「志」にもつながっていくでしょう。

もちろん、二つ目の漢字は、スローガンそして継続の「継」です。皆さんは、西川中学校での三年間、授業や行事等でたくさんのごことを学びました。創立五〇周年の今年度は、先輩から様々な教えもいただきました。多くの仲間とともに学び合い、保護者や地域の方々からもたくさん支えていただきました。そのことを一生の宝にし、感謝の気持ちをもつとともに、これからの人生を自分自身で切り拓いていくことを目指し、様々な学びを継続して行ってほしいと願っています。

そして、未来が希望に満ちあふれ、人々の幸せが実現した世の中になることを皆さんの手で推し進めていってください。期待しています。



## 第 50 回卒業証書授与式

式では、卒業生が心を込めて歌い上げた卒業合唱が会場に響き、三年間の思いと成長が感じられました。在校生も、これまでお世話になった先輩方への感謝の気持ちを胸に、終始真剣な態度で式に臨みました。卒業生と在校生それぞれの思いが重なり、会場には厳かで温かな雰囲気広がりました。西川中学校らしい、心に残るすばらしい卒業式となりました。



## 授業参観・学年懇談会

先日は、お忙しい中、授業参観ならびに学年懇談会にご出席いただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様に見守られ、生徒たちは少し緊張しながらもうれしさを感じながら、落ち着いて授業に取り組んでいました。また、本年度も本校の教育活動に対し、保護者・地域の皆様から多くのご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。皆様の温かなご協力に支えられ、生徒たちは日々の学校生活や行事を通して成長することができました。



## リーダー研修会

新年度に向けて、リーダー研修会を行いました。学校をよりよくするために自分たちにできることを考え、新しい一年へ向けて決意を新たにす機会となりました。また、卒業式後の片付けでは、2年生全体が落ち着いた態度で、声を掛け合いながらてきぱきと作業に取り組む姿が見られました。その姿から、これから学校を支えていこうとする頼もしさが感じられました。新年度の皆さんの活躍を楽しみにしています。

